

あすなろだより7月号

広島市立美鈴が丘高等学校あすなろ会

担当 1-5 2-2 2-6 あすなろ会



○西日本豪雨の現状

7月6日の夕方から7日にかけて、記録的な豪雨になり、土砂崩れ等の大きな被害が出ました。被災者の方々が一日でも早く普通の生活を送れるように、また行方不明者が一刻でも早く見つかってほしいという思いから、多くの高校生がボランティアとして活動しています。

全社協のホームページで確認してみてください。

<https://www.saigaivc.com/>



<https://www.kochinews.co.jp/article/198652/>

○西日本豪雨災害ボランティアに参加してみ

7月15日(日) ラクビー部有志が安芸区の被災地でボランティアをしました。これからボランティアに参加しようと思っている人は読んでみてください。

【今回、このボランティアに参加した理由】

少しでも困っている人達の力になれたらよいと思った。身近な人に被災している人が多いから。

【当日の活動内容】

5～10人でチームを作りリーダーを中心として活動しました。家や田畑の側溝から土砂を出し、土嚢袋に入れていきました。10分～15分おきに休憩をとり、昼休憩は90分、9時から15時まで活動しました。

【感想】

どの場所も大変な状態で、実際にその場に行かなければ分からない状況、匂い、暑さがあり、大変でした。熱中症になる人もいたので、準備と体調には十分気をつけていくべきだと思いました。

ボランティアを行う時には、被災された方の気持ちを考えてください。身勝手な行動が人を傷つけることがあります。ボランティアを行うことは、そういったことを含めて「他者への想像力」を育てることにつながると思います。

【事前に準備すべきこと】

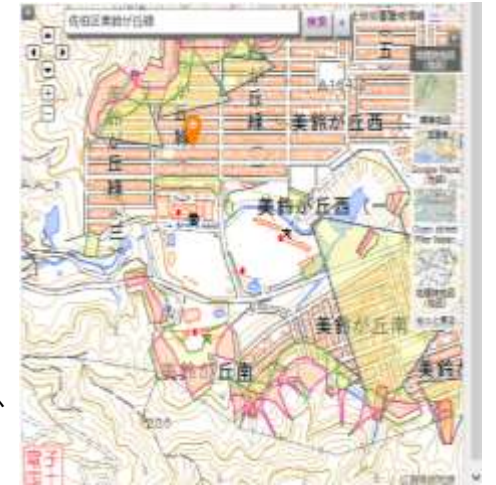
体をとにかく冷やすものが必要です。あと、マスクとゴーグルで砂ほこりを防ぐのもよいと思います。

○ハザードマップで自分の周りが安全かどうか調べてみよう

ハザードマップとは自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図のことです。

【ハザードマップの調べ方】

- ①広島市 土砂災害ハザードマップと検索し、「広島市ハザードマップについて」をクリックします。
- ②「土砂災害警戒区域等について」→「オリジナルハザードマップを作る」をクリックします。
- ③「ハザードマップを作ってみる」をクリックして、自分の住所を入力し、地域の状況が安全か調べてみましょう。



○ボランティアに行く時の大切なこと

ボランティア活動の基本はあくまでも自己完結です。

被災地に迷惑にならないように食べ物、飲み物の確保をして行く事が大切です。

服装は防塵マスク、帽子 or ヘルメット、長袖、長ズボン。持ち物は安全メガネ、厚手のゴム手袋、長靴、水筒、タオルを用意した方が良いでしょう。

今の時期は猛暑が続いているので熱中症にならないよう対策をする事が大切です。例えば、スポーツドリンクや塩分チャージのあめやタブレットをこまめに取るなどしましょう。

被災された方々の事を考えて行動するようにしましょう。心の面も考えていく必要があると思います。



<http://rsy-nagoya.com/volunteer/volknowledge.html>

○西日本豪雨災害義援募金について

この度の西日本豪雨での義援金募金を7月19日(木)、20日(金)、23日(月)の朝8:10～8:20、昼13:05～13:25(最終日は13:00～)に中央ギャラリーと食堂で行います。

このような状況で学校に行けない高校生もいます。私たちは普段通りの生活ができていることに感謝しなければなりません。少しでも多くの募金よろしく願います。